



放射線に関わるリスクコミュニケーション活動状況

概要

- ・環境省では、環境中に放出された放射性物質対策を進めると同時に、放射線や地域の環境再生への取り組みなどについて、わかりやすい情報を提供しています。
- ・放射線リスクコミュニケーション相談員支援センター、環境再生プラザを主な拠点として活動しています。

これまでの活動状況

		3月31日時点	
項 目		2024年度 3月分	2024年度 累 計
■放射線リスクコミュニケーション相談員支援センター		(単位：回)	
・自治体職員や相談員等の活動の支援	研修会	0	12
	専門家派遣	0	15
・住民の放射線に関する理解醸成の支援	住民セミナー	1	181
	車座意見交換会	1	22
■環境再生プラザ		(単位：回)	
・専門家派遣	自治体など	2	15
	小中学校など	3	57
	その他	0	20
・移動展示		2 (2)	52 (54日)
■その他		(WBC単位：日) (ガンマカメラ単位：台日)	
・内部被ばく検査 (WBC)の支援		0	65
・ガンマカメラ活用 リスクコミュニケーション支援		0	60

(放射線リスクコミュニケーション相談員支援センター)

放射線による健康不安等の各種相談対応、専門家派遣、研修会やセミナーの開催、線量測定等の支援を行っています。

◆住民セミナー

・ 3/10 田村市立大越中学校

目的：福島県の現状や放射線に関連する情報を自らが発信していけるように、放射線の基礎を学ぶ

感想：「光を体に浴びても体が光らないように、放射線は人から人へはうつらないことがわかった」



放射線の授業（3/10 大越中学校）

◆車座意見交換会

・ 3/3 飯舘村

目的：東京電力福島第一原子力発電所の見学を通して事故の概要や現状を学び、廃炉や福島復興の課題について意見交換をし、放射線の知識を深める

感想：「廃炉への道のりは大変長いと改めて感じた。一人一人が考えていかないといけない問題であると思う」



1F見学前に廃炉の現状を確認
(3/3 廃炉資料館)

(環境再生プラザ)

市町村や学校などに環境再生に関する情報の提供、専門家派遣・移動展示、地域とのコミュニケーションを推進しています。

◆専門家派遣

* 移動展示あり

〈自治体など〉

- ・ 3/12 福島市環境再生推進課
- ・ 3/26 南相馬市農林整備課

〈小中学校など〉

- ・ 3/13 天栄村立牧本小学校 *
- ・ 3/14 福島市立ふくしま支援学校
- ・ 3/18 福島大学附属中学校



担任の先生による紙芝居の読み聞かせ
(3/13 牧本小学校)

◆移動展示

- ・ 3/15 公益社団法人全国消費者生活相談員協会
「ふくしまの食相談センター」主催
第3回高校生交流会
テーマ：「高校生から学ぶ ふくしまの今とこれから」



霧箱で放射線の飛跡を観察
(3/13 牧本小学校)